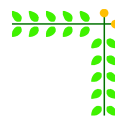


教育目標：一步前へ 自ら考え 力を合わせ やりぬく

湯之谷小学校だより



令和7年9月11日

しなやかで 強い心

夏休みを終え、子どもたちの元気な声が戻ってきました。各教室の廊下には、子どもたちが夏休みに取り組んだ作品が並んでおり、その充実ぶりがうかがえます。子どもたちに大きな事故等なく、無事に2学期が始まったことに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、2学期は様々な行事を予定しています。新しい行事もあれば、趣向を少し変えた行事もあります。すべての行事には以下のような考えに基づいています。

子どもたち一人一人の自尊感情を高めることを第一とし、新しいことにチャレンジすることのよさを感じ、自ら価値あるものを生み出していく楽しさを味わってほしい。

- ① 子どもが自分のチャレンジを選んで決める要素を取り入れる。
- ② 誰もが自分の得意なことを発揮して活躍できる機会を設ける。



10月7日(火) 校内マラソン記録会・・・自分で距離を選んでチャレンジする!

学年部で走る距離を2つから選択して走るようにしました。(陸上競技では距離による優劣はありません) 完走目的でもよし、記録ねらいでもよし、自分の目標に向かってチャレンジし、生涯スポーツとしてのマラソンを自分らしく楽しめるようにします。

10月25日(土) ミュージックフェスティバル・・・より一体感を感じられるように!

従来の音楽発表会から改名しました。会場全体で音楽を楽しめるように取り組みます。各学年の発表のほか、新潟発の世界的ダンスグループ「Chibi Unity」を招聘したダンスワークショップや、全体合唱「ふるさと」などで会場全体で盛り上がりたいと考えています。

10月31日(金) 全校縦割り班遠足・・・子どもと地域でつくるウォークラリー!

新規行事です。県外の学校から林間学校として来訪者の多い大湯地区へ縦割り班遠足に出かけます。午前中に班ごとに回るウォークラリーのポイントは児童会運営委員会が中心となって決め、CSの皆様、ボランティアの皆様のご協力をいただいて実施します。

12月3日(水) 湯之谷小フェス・・・湯之谷地区を丸ごとみんなで楽しむ児童会行事!

子どもたちが楽しみにしている湯之谷小フェス。今年の出店は学年単位で出店します。生活科や総合的な学習での学びを遊びを交えて発表し、みんなで楽しめます。中1生、CSの皆様からの出店もあります。湯之谷地区を舞台に楽しみながらみんなが学べる児童会行事です。



なかよし班遊び(遊び方を工夫しています)

元来、子どもは遊びや学びの中で試行錯誤を繰り返し、新しいものを創り出す力をもっています。湯之谷小学校でも、子どもたちが自分の発想を生かし、チャレンジすることを大切にしていきます。成功・失敗体験をともに積む中で、簡単には折れない、しなやかで強い心を育てていきたいと考えています。

2学期もどうぞよろしくお願いいたします。



1 学期 学校評価アンケートの結果をお知らせします

	アンケート項目	今年度 (%)	令和6年度1学期
児童	1 子どもは、学校に楽しく通っている。	95.8 (56)	96.2 (53.8)
	2 子どもは、学校生活の様子を家庭で話している。	82.4 (43)	84.7 (33.9)
家庭	3 家庭では、子どものよさや努力、可能性を大切にしている。	100 (62.7)	97.3 (54.1)
	4 授業参観や行事、PTA 活動に可能な範囲で積極的に参加している。	94.6 (49.4)	93.5 (42.1)
学校	5 学校(教師)は、子どものよさを大切にしている。	98.2 (65.1)	97.8 (62.3)
	6 学校は、子どもや保護者の相談事によく対応している。	96.9 (62)	97.8 (61.7)

※ 数値は「とてもそうである」「そうである」の割合の合計(=肯定的評価)

※ () 内は「とてもそうである(強い肯定)」の割合

○昨年までは、町探検等でよくボランティアを募集していましたが、今年はあまりないと思います。子どもの成長や学校での様子を知るためにもありがたい活動だったので、今後も検討してもらえたらうれしいです。

→ありがとうございます。学年のおたより等で呼びかけてまいりますので、募集の際はどうぞよろしくお願いいたします。

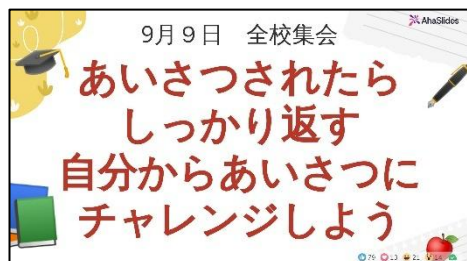
このほかにも、たくさんのご意見と励ましのお言葉をいただきました。いただいたご意見をよりよい学校づくりに生かしてまいります。ご協力いただきまして、ありがとうございました。

さわやかなあいさつをしていますか？

お子さんの普段のあいさつの様子はいかがでしょう？実は、先日地域の方との会合があり、湯之谷小学校の子どもたちの挨拶についてお聞きする機会がありました。「学校のプール監視のボランティアに行った際、とても気持ち良いあいさつを受けてうれしかった」との声があった一方で、「登下校時にあいさつしても返してくれない子がいて心配」「上の子があいさつのお手本になってくれるとありがたい」との声をいただきました。

あいさつはなぜ大切なのか？

- ① 相手と仲良くなるきっかけ
- ② 「あなたのことをたいせつにしているよ」というメッセージ
- ③ みんなが気持ちよい一日を過ごせる



先日のオンライン全校集会では高学年の子どもたちにタブレットでアンケートを取りながら、あいさつについて話をしました。アンケートの結果、「あいさつの大切さは分かっているけれど、恥ずかしいのであいさつができない」という子どもが約半数いることが分かりました。そこで、「恥ずかしい気持ちは分かるけれど、あいさつを返さないと無視されたと思われるのも仕方ない。それはもったいないので、会釈でも声が小

さくてもよいから、まずはしっかりあいさつを返すようにしよう」と話しました。あいさつは人間関係づくりの第一歩です。学校でも繰り返しよいあいさつができるように取り組んでいきます。ご家庭でもご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

学校ホームページを更新しています。どうぞご覧ください→

